

MySQL 5.1.68 リリースノート（日本語翻訳）

修正されたバグ

- **InnoDB; パフォーマンス:** ログの取り消しに関連する一部のデータ構造が、たとえ特定の条件下でのみ必要とされる場合であっても、クエリ中に不必要に初期化される可能性があった (Bug #14676084)。
- **InnoDB; パフォーマンス:** 冗長なテストをスキップすることにより、[圧縮](#)テーブルに対する読み取り操作が最適化された。関連する変更を[挿入バッファ](#)からマージする必要があるかどうかのチェックが必要以上に呼び出されていた (Bug #14329288、Bug #65886)。
- **InnoDB; パフォーマンス:** 作成したばかりのテーブルにクエリを実行した場合、[ルースインデックススキャン](#)が使用されなかった。テーブル上で **ALTER TABLE** を実行した後はこの問題は解消されていた。修正では、テーブルを最初に作成したときに収集される[インデックス統計](#)の精度を向上し、クエリプランが **ALTER TABLE** ステートメントによって変更されないようにした (Bug #14200010)。
- **InnoDB; パーティショニング:** これまで、パーティションレベルの **OPTIMIZE** をサポートしていない **InnoDB** などのストレージエンジンを使用するパーティションドテーブルの1つ以上のパーティションを最適化しようとする、MySQL は `Table does not support optimize, doing recreate + analyze instead` をレポートした後、テーブル全体を作成し直したが、実際には解析が行われていなかった。現在、このような場合、警告メッセージは `Table does not support optimize on partitions. All partitions will be rebuilt and analyzed` である。加えて、まずパーティションの再構築後、テーブル全体が解析される (Bug #11751825)。
- **InnoDB; バッファプールのいくつかのページが先読み** 要求によって取り込まれたものと間違っ認識されたために、ステータス変数 **Innodb_buffer_pool_read_ahead_evicted** が、予想よりも高い、不正確な値を示す可能性があった (Bug #15859402、Bug #67476)。

- **InnoDB:** 文字セットが **UTF-8** など可変長であるテーブルに対して **CHAR** カラムにインデックスを作成する場合、**ROW_FORMAT=REDUNDANT** 句でこのテーブルが作成されていると、失敗する可能性があった (Bug #15874001)。
- **InnoDB:** **ALTER TABLE** 操作時に、**InnoDB** テーブルに対して クラスタ化されたインデックス をちょうど再構築しているときにサーバがクラッシュした場合、それ以降オリジナルのテーブルにアクセスできなくなる可能性があった。このような操作の例は **ALTER TABLE ... ADD PRIMARY KEY** である。修正では、この操作中にサーバが中断した場合、オリジナルのテーブルを保持する。ただし、オリジナルのテーブルの内容をリストアするために、手動で **.ibd** ファイル名を変更する必要がある。MySQL 5.6 以降では **#sql-ib\$new_table_id.ibd** をデータベースディレクトリ内で **table_name.ibd** に変更し、MySQL 5.6 よりも以前でファイル名を変更するテンポラリファイルは **table_name#1** または **#2** である (Bug #14669848)。
- **InnoDB:** 開いているファイルが多すぎるなど、ファイルシステムレベルのエラーにより、**ALTER TABLE** 操作時に未処理のエラーが発生する可能性があった。このエラーは Valgrind 警告、および次の表明メッセージを伴う可能性があった。

```
Assertion '! is_set()' failed.  
  
mysqld got signal 6 ;
```

(Bug #14628410、Bug #16000909)

- **InnoDB:** シャットダウン時に、**innodb_purge_threads** 構成オプションが 1 よりも大きい値に設定されていると、以下のエラーが発生し、サーバが途中で中断する可能性があった。

```
mysqld got signal 11
```

回避策は、**innodb_log_file_size** を大きくし、**innodb_purge_threads=1** を設定することであった。**innodb_purge_threads** 構成オプションがないため、エラーが発生する可能性

は低かったが、MySQL 5.5 および 5.1 に修正がバックポートされた (Bug #14234028)。

- **InnoDB:** MySQL 5.1 の InnoDB プラグインの全サーバリリース、および MySQL 5.5、5.6、それ以降の統合 InnoDB コンポーネントに対する `innodb_version` 変数の値の更新に一貫性がなかった。InnoDB と MySQL Server の開発サイクルが完全に統合化され、同期化されたため、現在 `innodb_version` 変数で返される値は `version` 変数と同じである (Bug #13463493、Bug #63435)。
- **パーティショニング:** 複数の主キーを持つテーブルにおいて、主キーではない列をキーに用いてパーティションを行った場合に、集約関数と DISTINCT を使うクエリ (例えば `DISTINCT such as SELECT SUM(DISTINCT pk_column_1) FROM table WHERE pk_column_2 = constant`) 使うクエリが正しく動作しない (Bug #14845133)。バグ#14495351 も参照する事。またこのバグは #13025132 にて紹介された。
- **レプリケーション:** 無効な `MASTER_LOG_POS` 値を使用して `CHANGE MASTER TO` ステートメントを何度も実行すると、エラーが生じ、場合によってはスレーブでクラッシュが発生する可能性があった。現在、このような場合、ステートメントが失敗し、明確なエラーメッセージが表示される (Bug #11764602、Bug #57454)
- **レプリケーション:** バイナリログへの書き込み中にディスクがいっぱいになった場合、スペースを手動で解放するまで、サーバがハングする。この後、必要でないときに内部ステータス値が設定されるために、MySQL サーバが失敗する可能性があった。現在、このような場合、このステータスを設定する代わりに、エラーログに警告が書き込まれる (Bug #11753923、Bug #45449)。
- **Microsoft Windows:** ダイナミックなファイル名 (コロンを使用) は許可されなくなった。Microsoft Windows の ADS (Alternate Data Stream: 代替データストリーム) NTFS 機能を使用するスタティックなファイル名は引き続き使用できる (Bug #11761752)。
- Mac OS X および Windows 上でディレクトリ名処理により、スタックオーバーフローが発生する可能性があった (Bug #16066243)。
- yaSSL のバッファ処理問題が修正された (Bug #15965288)。

- 場合によって、**UpdateXML()** が間違っ**て NULL** を返す可能性があった (Bug #15948580)。

参考: Bug #13007062 も参照。

- メタデータロックおよびテーブル定義のキャッシュルーチンが、受け渡された名前の長さを必ずしもチェックしなかった (Bug #15954872)。
- クライアント競合が高い間にクエリキャッシュを有効にすると、サーバが終了する可能性があった (Bug #14727815)。
- サーバにて、ユーザ接続の **MAX_CONNECTIONS_PER_HOUR** の制限がきかないことがあった。(Bug #14627287)
- 不明な時間帯指定を **CONVERT_TZ()** に受け渡すと、メモリリークが発生した (Bug #12347040)。
- **HASH** インデックス付きの **MEMORY** テーブルに対して、**DELETE** が該当するすべての行を削除できないことがあった (Bug #51763、Bug #11759445)。
- **mysqld_safe** で移植不能な **-e** テスト構造を使用していた (Bug #67976、Bug #16046140)。
- **UNION** 型変換で、符号なし値を符号付き値に間違っ**て変換する**可能性があった (Bug #49003、Bug #11757005)。
- 起動プロセス中、**mysqld** がすでに実行している **mysqld** の PID ファイルを間違っ**て削除する**可能性があった (Bug #23790、Bug #11746142)。

参考: Bug #14726272 も参照。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。